



変化点管理のポイントと問題解決をやり切る取り組み方を学ぶ

変化点管理の考え方・進め方

■とき

2025年 5月27日(火)

12月2日(火)

(1日コース 10:00~17:00)

■ところ

中産連ビル研修室

名古屋市東区白壁3-12-13

または、

■オンライン(ZOOM配信)

生産活動を行うと多様な変化がおこります。人の変化、設備の変化、材料の変化、製品の変化、環境の変化など様々です。この多様な切り口からの変化点を管理し対処することが品質不良(クレーム)の撲滅や事故未然防止を図ることができます。

この研修では、変化点に着目し異常を発見しいち早く解決する仕組みや考え方を経験豊かな講師が豊富な事例を交えてわかりやすくお話いたします。

対象

- 工場長、製造部長、現場改善部門の方、工務部門の方
- 製造現場で迅速に異常を発見できる仕組みを造り上げたい方
- 品質不良やクレームを撲滅したいと考えている方

研修プログラム

1.変化点管理を実施する重要性

- (1)変化点管理とは
- (2)異常を発見する為に必要なこと
 - ①正常、異常が分かるとは
 - ②異常の予防的管理と事後的管理とは
 - ③目で見える管理と5S

2.変化点管理の基本的な進め方

- (1)生産現場で変化点管理を導入する手順
- (2)変化点管理を運用する仕組みづくり
- (3)変化点管理に必要なツールの重要性
- (4)変化点管理で活用するツールのつくり方

3.変化点管理で大切なグラフの活用

- (1)QC7つ道具を活用する
- (2)新QC7つ道具を活用する

4.変化点管理の具体的な管理項目と異常事例と対策

～問題解決をやり切る取り組み方～

- (1)モノづくりに関する切口
 - ①生産計画(受注状況)
 - ②生産の要素(5M1E)

(2)作業者(Man)と作業方法(Method)に関する切口

- ①標準作業
- ②標準作業時間(出来高)

(3)機械(Machine)に関する切口

- ①サイクルタイム
- ②加工品品質
- ③設備異常

(4)材料(Material)に関する切口

- ①受入検査
- ②在庫管理
- ③非常在庫

(5)検査(Measurement)に関する切口

- ①検査結果(全数、抜き取り)

(6)環境(Environment)に関する切口

- ①職場環境(温度、湿度、騒音、光、振動)

(7)各部門から見る変化点管理とは

5.品質保証として取組まれているその他の活動

- ①トヨタ生産方式
- ②自工程完結
- ③品質マネジメントシステム(ISO、IATF)

